

平成24年度事業報告書
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

1 事業の成果

○日本IDDMネットワークの3つの約束

インスリンの補充が必須な患者とその家族一人ひとりが希望を持って生きられる社会を実現するために、平成22年度に“救う”“つなぐ”“解決”の3つの約束を掲げました。

そして、平成23年度に開催した日本IDDMネットワーク法人化10周年・1型糖尿病研究基金設立5周年記念シンポジウム開催を機に、最終ゴールは、2025年に1型糖尿病を「治らない」病気から「治る」病気にする事としました。

その実現のための平成24年度の主な取り組みは以下のとおりです。

○“救う”－患者と家族の皆さんに私たちの経験を還元します。

地域患者・家族会への助成金の交付や講師の斡旋・派遣、20歳以上の患者支援策実現、特別児童扶養手当の適正な認定事務の徹底、介護職員によるインスリン注射の実現、海外で使用可能な先進的医療デバイス類の早期承認と患者負担の軽減、及び運転免許規制等に対する政策提言、患者の祖父母や学校・幼稚園等での説明用パンフレット、血糖測定器等を入れる「キティちゃんポーチ」、ジュースC グルコース及び1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアル Part 1～5の配布、電話・メール等での相談対応、ホームページのリニューアル、会報の発行などに取り組みました。

特に政策提言では、20歳以上の患者支援策実現に向けてロビー活動を展開しましたが、実現には至っておりません。常勤職員不在の中でたいへん苦しい状況ですが、次年度もこの取り組みは優先課題として取り組みます。

新たな取り組みとしては、1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアル Part 5（患者と家族の体験編）を発行し、同 Part 3（災害対応編）の改訂版も作成しました。このお役立ちマニュアルシリーズは好評で、紀伊國屋書店様をはじめ、医学系出版社等からも引き合いが来ており、寄付ではなく出版に向けての検討に着手したところです。

なお、ホームページは依然として改善の余地がありますが、情報は充実しているという評価もいただき、アクセス件数は前年度比2倍へと大幅に増加しました。

○“つなぐ”

－患者・家族と研究者、医療者、企業、行政、そして社会とつなぎます。

インスリンポンプとカーボカウントのセミナーは、出席者の7割が医療関係者でもあることから、確実に医療・療養環境の充実につながっていると認識しています。

また、村上龍氏（作家・映画監督）が編集長を務めるメールマガジンJMM（約10万人に配信）ほか、全国各地の新聞やテレビ等で私たちの活動が数多く取り上げられ、1型糖尿病の認知度向上につながったものと考えます。

さらに、当法人が本格的に1型糖尿病の社会啓発に取り組むための手段の一つとして、放送作家のご夫妻にプロボノ（職業上のスキルをいかしたボランティア）で絵本（1巻「わたしと病気のおはなしの巻」、2巻「かぞくのお話しの巻」、3巻「1型糖尿病という病気の巻」）を日本語と英語併記で作成していただきました。役職員の対応のまずさで印刷が遅れてしまいましたが、次年度早々には完成します。

そして、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の経験を風化させることなく、その教訓を伝えるためにも「1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアル Part 3－災害対応編－別冊 1型糖尿病 [IDDM] 関係者の東日本大震災」を発行すべく被災地を再度訪問し編集作業を行いました。平成25年5月の完成予定です。

○ “解決”

－研究者の方々に研究費を助成し、1型糖尿病の根治への道を開きます。

1型糖尿病の治療につながるあらゆる先進的な研究を応援する「1型糖尿病研究基金」による第4回の研究費助成（2件200万円）を行い、5回目の公募も開始しました。2年連続の研究費助成は当研究基金設立以来初めてのことです。

『1型糖尿病 2025年「治らない」から「治る」へ』をテーマに据えたシンポジウムは、今回の大阪開催でも大盛会でした。1型糖尿病を「治る」病気に変えようとしている医療者・研究者の方々と患者・家族とがその想いを語り合うことで、「治る」病気になることへの期待感が高まっています。

1型糖尿病の根治のためには、2025年までに100億円の研究費助成を想定しています。

このため、寄付に対し税制優遇措置が受けられる認定特定非営利活動法人として、平成24年8月3日に全国初の所轄庁（都道府県・政令市）認定を受けました。

当法人主催のイベントをはじめ、阪神タイガースの岩田稔投手の1勝10万円寄付、個人からの100万円を筆頭とする多くの方々からの寄付、ノーモア注射マンスリーサポーター（1口2,000円を毎月口座から自動引き落とし：2,000円は、ひと月のインスリン注射費用の概ね半分に相当）、ノーモア注射希望の本プロジェクト（家庭や職場で不要になった本を提供していただき寄付へ）、書き損じはがきプロジェクト（家庭や職場にある書き損じ、未使用のはがきを提供していただき寄付へ）、Just Giving Japan（オンライン上のチャリティプログラム：大村詠一専務理事等が挑戦）での“ノーモア注射2025”プロジェクト、寄付つき商品等多彩なメニューによる取り組みもあり、本年度の1型糖尿病研究金には5,900,323円（前年度比2.3倍）という過去最高の寄付がよせられ、平成26年度まで3年連続の研究費助成が可能となりました。

こうした寄付メニューの中でも「希望の自動販売機プロジェクト」は、企業、医療機関、公共施設、寺院等にご協力いただき、累計設置台数が27台（前年

度比24台増)となりました。この自動販売機は、売上の一部が寄付になるだけでなく、1型糖尿病のことを掲示しており、病気の啓発にも寄与しています。

また、FUNKY MONKEY BABYS 関係者の皆様のご協力により「涙」を収録した“1型糖尿病 2025年「治らない」から「治る」へ 私たちの挑戦への『参加』のお願い”のDVDを作成することができ、今後の研究支援活動や1型糖尿病の啓発に大きく寄与するものと考えます。

一方で、チャリティコンサートは企画途中で人的対応が困難になり断念しました。

JDRF (米国1型糖尿病研究基金)調査は、井上龍夫理事長と大村詠一専務理事が渡米し、研究支援活動、患者・家族への支援活動、年間約100億円以上というファンドレイジング(資金調達)等の現状を学びました。この調査で得られたものは順次平成25年度から実践に移します。

さらに、平成23年1月に発足した『1型糖尿病「治らない」から「治る」—“不可能を可能にする”—を応援する100人委員会』の委員が96名となりました。ノーベル医学・生理学賞を受賞された京都大学iPS細胞研究所長の山中伸弥氏をはじめ、作家・映画監督の村上龍氏、プロ野球阪神タイガースの岩田稔氏、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター副センター長の西川伸一氏、株式会社大塚製薬工場研究開発センター特別顧問の松本慎一氏ほか様々な分野の方々に“参加”いただいております。今年度は新たにカバヤ食品株式会社代表取締役社長の野津喬氏など、18名の方々に加わっていただきました。委員の中にはご自身の名刺に100人委員であることを記載されており、1型糖尿病の啓発にも繋がっています。

こうした事業を通して、根治に向けての期待とその研究がより現実的なものとして認識されつつあり、2025年には1型糖尿病が“治る”病気になるよう取り組みを強化して行きます。

管理運営面では、業務拡大に伴い外部委託を進めて取り組みましたが、理事長は愛知県、事務局は佐賀県で別に職業を持ちながらの活動のため、非効率で受託者にもかなりの無理を強いることになってしまいました。平成25年度の業務委託は何とか目処が立ちましたが、常勤職員不在の脆弱な組織運営体制の改善には至っていません。一方で、今年度も52名のボランティアに助けられました。特に1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルPart5(患者と家族の体験編)作成に当たっては、3名の患者のボランティアが責任を持って完成まで導き、患者の視点で内容の充実した体験談をまとめることができました。阪神タイガース岩田稔投手の患者との試合観戦・交流会では、大阪杉の子会の方に事務を担っていただきました。そして、イベント時のボランティア募集ではすぐに定員に達するようになりました。この52名の中から2名が次年度のコアメンバー(役職員)に加わります。

以上のように、日本IDDMネットワークは、ミッション達成に向けて、患者・家族のみならず一般社会を巻き込んだ共感の輪が広がりつつあります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ネットワークの拡大・支援 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する団体との連携]	○地域患者・家族会の活性化のために下記の団体に助成金を2万円交付した。 ・特定非営利活動法人補食の会	10月15日	佐賀市	1人	患者及びその家族等 40人	21
	○患者・家族会設立助成金に対する交付申請はなかった。	通年	佐賀市	1人	—	
	○地域患者・家族会の下記の事業に対し、講師の斡旋・派遣や名義後援を行った。 <講師の斡旋・派遣> ・特定非営利活動法人DMユース佐賀主催の患者・家族交流会で岩永幸三副理事長が日本IDDMネットワークの取り組みについて講演。	7月15日	佐賀市	1人	30人	
	・つぼみの会三重主催の「“治らない”から“治る”へ IN 三重」で井上龍夫理事長が日本IDDMネットワークの取り組み、松本慎一理事が「世界の糖尿病治療の最前線と1型糖尿病研究基金への期待」について講演。	12月16日	津市	3人	70人	
	<名義後援> ・つぼみの会愛知・岐阜主催の「1型糖尿病患者の療養および学校との連携についての教職員向け研修会」	8月8日	名古屋市	1人	280人	
	・岡山小児糖尿病協会(岡山つぼみの会)主催の「1型糖尿病患者の療養及び学校との連携についての研修会」	8月9日	岡山市	1人	50人	
	・つぼみの会三重主催の「1型糖尿病 先生方と患者・家族との研修会」	8月21日	津市	1人	70人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ネットワークの拡大・支援 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する団体との連携]	○地域患者・家族会から日本IDDMネットワークの事業に対し、下記の協力をいただいた。 WA!の会(岡山1型糖尿病の会)が、2012年度中国地区糖尿病看護研究会第4回中国地区ブロック糖尿病看護スキルアップセミナー「1型糖尿病・妊娠糖尿病患者支援のために知っておきたい基礎知識」において、1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルのPRや1型糖尿病研究基金への寄付呼びかけ等を実施。	2月3日	岡山市	3人	患者及びその家族等 60000人	
情報収集提供・政策提言 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病患者・家族への療育指導] [糖尿病に関する政策提言] [糖尿病に関する団体との連携]	○20以上の患者支援策の実現に向けて、 ①国の「小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会」等で1型糖尿病を身体障害者福祉法における内部障害として位置づけるよう提案を行った。 ②国の「難病対策に関する意見交換会」等で小児慢性特定疾患治療研究事業対象からの成人移行について、早急に対応するよう国への要請を行った。 ③障害者総合支援法施行令に規定される「治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病」に1型糖尿病を含めるよう国に対し意見を提出した。 ④「障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律第4条第1項の規定に基づき厚生労働大臣が定める程度」に「治療の継続に伴う困難さや薬物療法における副作用に起因する問題なども包含できる表現を織り込むべき」、「小児慢性特定疾患治療研究事業の対象患者は厚生労働大臣が定める程度に該当するようにすべき」と国に対し意見を提出した。 ○特別児童扶養手当の適正な認定事務に向けて国への周知要請及び該当する地方自治体に対して改善の申し入れを行った。	通年	東京都 安城市 佐賀市ほか	3人	患者及びその家族等 60000人	3699
		通年	東京都 安城市ほか	2人	20000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集提供・政策提言 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病患者・家族への療育指導] [糖尿病に関する政策提言] [糖尿病に関する団体との連携]	○海外で使用可能な先進的医療デバイス類の早期承認（デバイスラグの解消）及びその患者負担軽減に向けて、国への要請を行った。	通年	東京都 安城市ほか	3人	患者及びその家族等 60000人	
	○高齢者介護施設での職員によるインスリン注射が可能となる法整備に向けて、国への要請を行った。	通年	東京都 安城市ほか	3人	60000人	
	○配偶者控除制度の存続に向けて、日本難病・疾病団体協議会（JPA）を通して働きかけを行った。	通年	佐賀市	1人	60000人	
	○国の「小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会」で、1型糖尿病を含む難病、慢性疾患患者の学校生活や就職問題について、教職員に対する理解促進を図るよう要請を行った。	11月28日	東京都	2人	20000人	
	○1型糖尿病患者の運転免許規制を拡大しないようロビー活動を展開し、道路交通法改正試案に対し、主に「免許を受けようとする者等に対する病気の症状に関する公安委員会の質問制度および虚偽回答に対する罰則整備」に当たり、国に対し意見を提出した。	通年	東京都 安城市 佐賀市	3人	60000人	
	○患者の祖父母向けパンフレットを患者・家族等へ配布した。	通年	佐賀市ほか	2人	60000人	
	○東京学芸大学と協働で作成した学校、幼稚園等での説明用パンフレット「教えて、りんりん！ RinRin 1型糖尿病ってどんな病気？」を患者・家族等へ配布した。	通年	佐賀市ほか	2人	20000人	
	○(株)キャリアブレイン様と協働で教職員向けの1型糖尿病ビデオを作成しホームページ上で公開した。	5月～	東京都ほか	4人	20000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集提供 ・政策提言 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病患者・家族への療育指導] [糖尿病に関する政策提言] [糖尿病に関する団体との連携]	○榊サンリオ様の協力を得て、ロシュ・ダイアグノスティックス様から提供いただいた血糖測定器等を入れる「キティちゃんポーチ」等を、患者・家族等へ配布した。	通年	佐賀市ほか	2人	患者及びその家族等 60000人	
	○カバヤ食品(株)様から提供いただいたブドウ糖(グルコース)を主成分とした手軽な糖分補給が可能なタブレット「ジュ-0グルコース」を患者・家族等へ配布した。	9月～	岡山市 佐賀市ほか	5人	60000人	
	○「1型糖尿病 [IDDM] レポート2012」(IDDM白書)を200部作成し、ホームページ上でも公開した。	11月～	安城市 佐賀市 大津町ほか	6人	60000人	
	○カーボカウントとインスリンポンプのセミナーを引き続き開催した。参加者の70%が医療関係者であった。	9月1日	青森市	12人	64人	
		10月7日	岐阜市	11人	68人	
		11月4日	新潟市	14人	47人	
12月15日		福井市	14人	67人		
1月20日		高松市	10人	82人		
2月3日	宮崎市	13人	52人			
○その他、文部科学省、日本糖尿病学会年次学術集会、日本先進糖尿病治療研究会、糖尿病学の進歩、日本膵・膵島移植研究会、日本移植学会総会、日本糖尿病教育・看護学会学術集会、中内幹細胞制御プロジェクト成果報告会、製薬協フォーラム等で情報収集や情報発信を行った。	通年	東京都 横浜市 名古屋市 四日市市 京都市 大阪市 神戸市 岡山市 倉敷市 高松市 佐賀市ほか	4人	60000人		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
調査研究 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携] [糖尿病以外の団体との連携]	○1型糖尿病患者・家族等に必要な情報を網羅した「1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアル」Part1からPart5を配布した。	通年	佐賀市	2人	患者及びその家族等 60000人	7159
	○東日本大震災を踏まえて「1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアルPart3 (災害対応編)」の改訂版を3000部発行した。	4月	安城市 伊勢市 西宮市 佐賀市	4人	60000人	
	○「1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアルPart5 (患者と家族の体験編)」を5000部発行した。	12月	東京都 大磯町 安城市 木津川市 佐賀市ほか	7人	60000人	
	○「1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアル」を紹介したチラシを3000部増刷した。	1月	佐賀市	1人	60000人	
	○JDRF (米国の1型糖尿病研究財団)の視察を行った。	6月13日 ～15日	ニューヨーク ロサンゼルス	2人	60000人	
	○1型糖尿病「治らない」から「治る」－“不可能を可能にする”－を応援する100人委員の助言を受けながら、2025年の1型糖尿病の根治に向けて「ノーモア注射募金」活動の具体的展開を図るための検討を行った。	7月～2月	東京都 名古屋市 佐賀市	6人	60000人	
	○スタンフォード大学が開発した「セルフマネジメントプログラム」の普及に取り組む特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会への協力をを行った。	通年	佐賀市	1人	60000人	
○以下の調査・研究等に協力を行った。 ・患者支援団体等が主体的に難病研究支援を実施するための体制構築に向けた研究 (日本難病・疾病団体協議会研究班)	通年	安城市 大阪市 佐賀市ほか	5人	60000人		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
調査研究 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携] [糖尿病以外の団体との連携]	○以下の調査・研究等に協力を行った。 ・被災地支援団体の福祉文化活動に関するアンケート(日本福祉文化学会) ・1型糖尿病患者及びその家族を対象とした次世代先進医療に対する調査(国立国際医療研究センター研究所膵島移植プロジェクト)					
シンポジウム・患者家族交流会 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病患者・家族への療育指導] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携]	『1型糖尿病 2025年「治らない」から「治る」へ』を目指して、「根治に向けた最先端研究者とともに想いを語り合う日」と題して、シンポジウムを開催した。 ・「1型糖尿病研究基金の今後～JDRF 視察から学ぶこと～」 井上龍夫日本IDDMネットワーク理事長 ・講演①「私の1型糖尿病根治計画～膵島移植からバイオ人工膵島へ～」 松本慎一国立国際医療研究センター膵島移植プロジェクト研究アドバイザー ・講演②「私の1型糖尿病根治計画～DNAワクチン治療～」 中神啓徳大阪大学大学院連合小児発達研究科教授 ・講演③「私の1型糖尿病根治計画～iPS細胞による再生医療～」 長船健二京都大学iPS細胞研究所准教授 1型糖尿病根治に向けたサイエンスカフェ等 ・テーマ①「バイオ人工膵島」 松本慎一国立国際医療研究センター膵島移植プロジェクト研究アドバイザーほか ・テーマ②「DNAワクチン治療」 中神啓徳大阪大学大学院連合小児発達研究科教授ほか	3月24日	大阪市(大阪大学中之島センター)	37人	患者及びその家族等 159人	1282

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
シンポジウム ・患者家族交流会 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病患者・家族への療育指導] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携]	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ③「iPS細胞による再生医療」 長船健二京都大学iPS細胞研究所准教授 ほか ・テーマ④「先進デバイスによるインスリン療法」 川村智行大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学講師ほか ・テーマ⑤「大村詠一エアロビック日本代表を囲んでの座談会」 大村詠一日本IDDMネットワーク専務理事 ・講演④「1型糖尿病根治計画への期待～法人の社会貢献の視点から～」 田中延喜社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院長 和田敏文エクセルエイド少額短期保険株式会社代表取締役社長 ・講演⑤「1型糖尿病根治計画への期待～患者の立場から～」 大村詠一エアロビック日本代表 ・『1型糖尿病「治らない」から「治る」 — “不可能を可能にする” — を応援する 100人委員会』の決意表明 					
関係団体との連携 [糖尿病に関する政策提言] [糖尿病に関する団体との連携]	日本糖尿病学会関係者、日本難病・疾病団体協議会（JPA）等と1型糖尿病患者の将来のために情報交換等を行った。また、日本糖尿病協会主催の「第11回全国ヤングDMカンファレンスin大阪」の周知協力を行った。	通年	安城市 佐賀市ほか	3人	患者及びその家族等 60000人	214
普及啓発 [糖尿病に関する知識の普及啓発]	○阪神タイガース岩田稔投手（1型糖尿病患者）の患者との試合観戦・交流会（阪神対横浜DeNA戦、阪神対ヤクルト戦）に協力し、マスコミ3社に取り上げられた。	7月29日 8月2日	西宮市 西宮市	3人 3人	患者及びその家族等 60000人	69

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発 [糖尿病に関する知識の普及啓発]	○阪神タイガースの岩田稔投手から1勝10万円(計80万円)が当研究基金に寄付され、スポーツ新聞4社に取り上げられた。	11月24日 (掲載日)	西宮市	3人	患者及びその家族等 60000人	
	○村上龍氏(作家・映画監督)が編集長を務めるメールマガジンJMM(約10万人に配信)で井上龍夫理事長と能勢謙介氏(患者)の特別対談が掲載された。	6月15日	東京都 安城市	2人	60000人	
	○女子栄養大学の月刊誌「栄養と料理」6月号に2012年開催の東京でのシンポジウムや1型糖尿病等について掲載された。	6月	安城市ほか	2人	60000人	
	○毎日新聞に、山中伸弥氏のノーベル医学・生理学賞受賞に伴う井上龍夫理事長の1型糖尿病に関するコメントが掲載された。	10月9日	安城市	1人	60000人	
	○テレビ熊本のニュースにおける1型糖尿病患者(陶山ゆう子さん)の特集報道に協力を行った。	8月	佐賀市 大津町ほか	2人	60000人	
	○大村詠一専務理事のインタビューが福井新聞で「病気でも夢をあきらめない」というタイトルで掲載された。	10月18日	福井市	2人	60000人	
	○東海ラジオの Morgen ジャーナル「1型糖尿病を知ろう」に大村詠一専務理事が出演してインタビューに対応した。	11月9日	大津町ほか	2人	60000人	
	○くま経プレス2013年2月号に大村詠一専務理事が登場し、1型糖尿病等について掲載された。	2月	大津町	1人	60000人	
	○大村詠一専務理事が全国各地の小・中学校、高等学校、公民館、イベント等で、1型糖尿病に関する講演を29回行った。	通年	全国各地	1人	60000人	
○1型糖尿病を理解してもらうため、絵本(3巻セット)の作成作業を行った。	8月～	大川市 佐賀市ほか	9人	60000人		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発 [糖尿病に関する知識の普及啓発]	○1型糖尿病研究基金を応援する「難病・慢性疾患患者支援自動販売機」が第一繊維工業有限会社様(富山市)、株式会社稲本製作所様(白山市)、株式会社オーイーシー様、洛和会音羽病院様(京都市)に設置されたこと並びに1型糖尿病に関する記事が北陸中日新聞、北國新聞、富山新聞、大分合同新聞、毎日新聞等に掲載された。	7月 9月 2月	富山市 白山市 京都市 大分市	2人	患者及びその家族等 60000人	
	○川崎直人プロデューサーの1型糖尿病研究基金等についての取り組みや1型糖尿病について下記のとおり掲載・放送された。 <掲載> 北海道新聞、東奥日報、岩手日報、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、新潟日報、福井新聞、日刊県民福井新聞、岐阜新聞、中日新聞、京都新聞、神戸新聞、徳島新聞、愛媛新聞、高知新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、沖縄タイムス <ラジオ> 福井エフエム放送 <テレビ> 福井放送	10月 ~12月	全国各地	1人	60000人	
	○佐賀新聞に、1型糖尿病研究基金、1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアル Part 5 及び1型糖尿病について掲載された。	3月3日 3月7日	佐賀市	1人	60000人	
	○「地域公務員になろう 今日からあなたも地域デビュー!」(編集:公益財団法人日本都市センター、発行:株式会社ぎょうせい)に当法人の活動内容や1型糖尿病等について6頁に渡って掲載された。	6月	佐賀市	1人	60000人	
	○全日本社会貢献団体機構様の「社会貢献活動年間報告書2011」に当法人の活動内容や1型糖尿病について2頁に渡って掲載された。	7月	佐賀市	2人	60000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発 [糖尿病に関する知識の普及啓発]	○内閣府NPOホームページに認定NPO法人の活動事例として当法人の事業概要等が掲載。 ○カトリック東室蘭教会のホームページに「ノーマ注射～希望の本プロジェクト」や1型糖尿病について掲載。	1月～ 3月～	佐賀市 室蘭市	1人 1人	患者及びその家族等 60000人 60000人	
療育相談 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病患者・家族への療育指導] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携]	○電子メール(92件)、面談(2件)、相談電話(109件)、ホームページ(248,983件)等を通して、様々な相談等に対応した。 ○1型糖尿病を持つ女性・家族と看護職者のためのセミナー「共に語ろう妊娠・出産」を糖尿病女性のリプロダクティブヘルスに関わる支援ネットワークシステムの構築研究班(主任研究者:田中佳代久留米大学医学部看護学科母性看護学准教授)と共催で開催した。	通年 12月1日	東京都 南越前町 安城市 木津川市 佐賀市 和水町ほか 仙台市	7人 3人	患者及びその家族等 60000人 40人	9
会報発行 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する団体との連携]	会員の情報交換等のため、会報を2回、各4000部発行した。	7月24日 1月21日	佐賀市ほか	7人	患者及びその家族等 60000人	612

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
東日本大震災対策 [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する政策提言] [糖尿病に関する団体との連携] [糖尿病以外の団体との連携]	<p>○岩手県、宮城県、福島県の被災地に入り患者、家族、行政、医療機関、マスコミ等からの情報収集を行った。</p> <p>○東日本大震災の経験を風化させることなく、その教訓を伝える「1型糖尿病[IDDM] お役立ちマニュアルPart3(災害対応編)別冊・1型糖尿病[IDDDM]関係者の東日本大震災」の作成作業を行った。</p> <p>○アトピー・アレルギー性疾患患者・家族を支援する認定特定非営利活動法人アトピッズ地球の子ネットワークと大規模災害時に使用する協働ポスター(相談窓口等を掲載)を作成した。</p>	通年	大船渡市 陸前高田市 仙台市 石巻市 気仙沼市 女川町 福島市 伊達市 名古屋市 安城市 伊勢市 大阪市 西宮市 佐賀市	4人	患者及びその家族等 60000人	732
1型糖尿病研究基金 (特別会計) [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携] [糖尿病以外の団体との連携]	<p>【研究助成金】</p> <p>○1型糖尿病の治療につながるあらゆる先進的な研究を応援する「1型糖尿病研究基金」の第4回研究費助成の公募を行い、13件の応募の中から下記の2件の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1型糖尿病治療を目指したDNAワクチンの基盤技術の開発 研究代表者：中神啓徳大阪大学大学院連合小児発達研究科教授 助成金：100万円 ・1型糖尿病患者由来iPS細胞を用いた病態解析研究 研究代表者：長船健二京都大学iPS細胞研究所准教授 助成金100万円 <p>○1型糖尿病の根治につながるあらゆる先進的な研究を応援する「1型糖尿病研究基金」の第5回研究費助成の公募を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間：3月1日～5月10日 ・助成総額：300万円(3件助成予定) 	7月19日	東京都 安城市 佐賀市 大津町ほか	10人	患者及びその家族等 60000人	2000
		3月1日～	安城市 佐賀市ほか	3人	60000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携] [糖尿病以外の団体との連携]	【広報】 ○1型糖尿病「治らない」から「治る」－“不可能を可能にする”－を応援する100人委員会の委員が96名となった。 ＜100人委員会の役割＞ ・不可能を可能にするこの取り組みを“社会に発信”する。 ・不可能を可能にするこの取り組みの“戦略に助言”する。 ・不可能を可能にするこの取り組みに“参加”し患者と家族に勇気を与える。	通年	南越前町 安城市 佐賀市	4人	患者及びその家族等 60000人	1287
	○家庭や職場にある書き損じ・未使用のハガキを提供いただく「書き損じハガキプロジェクト」のチラシを15000部増刷した。	4月 2月	佐賀市	1人	60000人	
	○糖尿病生活プロジェクト「ディエムアイランド」様から難病・慢性疾患患者支援自動販売機の設置協力及び売上の一部を当研究基金へ寄付していただくこととなった。	6月～	鯖江市 佐賀市ほか	2人	60000人	
	○“1型糖尿病～2025年「治らない」から「治る」へ 私たちの挑戦への『参加』のお願い”のメニューを網羅したクリアファイルを2000部増刷した。	8月	佐賀市	1人	60000人	
	○ジャスト・ギビング・ジャパンのWEBサイトで当研究基金への寄付を呼びかける「“ノーモア注射2025”プロジェクト」のチラシを4000部増刷した。	8月	佐賀市	1人	60000人	
	○本年度に助成を行った2つの研究テーマの概要書を各5000部作成した。	9月	安城市 佐賀市	2人	60000人	
	○(株)バリューブックス様と協働で家庭や職場に眠っている古本を提供いただく「～ノーモア注射～希望の本プロジェクト」のリーフレットを5000部増刷した。	9月	佐賀市	1人	60000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計) [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携] [糖尿病以外の団体との連携]	○コカ・コーラグループ各社様及び(株)伊藤園様並びに難病・慢性疾患患者支援自動販売機を設置いただいた皆様のご協力により、その飲料売上額の一部が当研究基金へ寄付される「希望の自動販売機プロジェクト」のチラシを5000部増刷した。	10月	佐賀市	1人	患者及びその家族等 60000人	
	○8月3日に認定NPO法人となったことに伴い寄付者に税制優遇措置の概要をお知らせするチラシを5000部作成した。	10月	佐賀市	1人	60000人	
	○当研究基金の寄付金趣意書(パンフレット)を6000部増刷した。	10月 1月	佐賀市	1人	60000人	
	○1型糖尿病「治らない」から「治る」－“不可能を可能にする”－を応援する100人委員会のパンフレットを3000部増刷した。	10月 3月	安城市 佐賀市	2人	60000人	
	○1型糖尿病「治らない」から「治る」－“不可能を可能にする”－を応援する100人委員等に対し歳末寄付のお願いを行った。	12月	安城市 佐賀市 大津町ほか	7人	60000人	
	○FUNKY MONKEY BABYSの「涙」を収録した“1型糖尿病 2025年「治らない」から「治る」へ 私たちの挑戦への『参加』のお願い”のDVDを250枚作成した。	3月	東京都 南越前町 安城市 佐賀市	3人	60000人	
	<主な寄付金収入実績> ○ホームページ、会報等で随時寄付をお願いしたところ、高額な寄付も頂戴した。 5万円以上の寄付件数：13名	通年	全国各地	4人	60000人	
○阪神タイガースの岩田稔投手から1勝10万円(計80万円)が当研究基金に寄付され、スポーツ新聞各紙に取り上げられ、1型糖尿病の啓発にも繋がった。	11月23日	西宮市	3人	60000人		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計) [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携] [糖尿病以外の団体との連携]	○コカ・コーラグループ各社様及び(株)伊藤園様並びに難病・慢性疾患患者支援自動販売機を設置いただいた皆様のご協力により、その飲料売上額の一部が当研究基金へ寄付された。 設置目標台数:100台 実績台数:27台 寄付総額:254,295円	通年	千葉県 東京都 富山市 白山市 福井市 小浜市 鯖江市 南越前町 おおい町 京都市 綾部市 福山市 大川市 佐賀市 大分市	3人	患者及びその家族等 60000人	
	○エクセルエイド少額短期保険株式会社様の「ふおーりつくぷろぐらむ」(インターネットからの保険契約1件につき一定額を寄付)から保険加入者の意向により当研究基金へ寄付された。 寄付総額:26,200円	通年	全国各地	1人	60000人	
	○有限会社プレジャス・アイ様から病気や緊急連絡先などの情報を伝えるためのアクセサリ-Medical ID(医療識別票)、商品名MEDIC INFOの売り上げの10%に自社からの寄付を加え当研究基金へ寄付された。 寄付総額:30,000円	通年	全国各地	1人	60000人	
	○インターネットの保険代理店DOZOから自動車保険に加入し、無事故で過ごせた場合、保険加入者の意向により1契約あたり年間最大1200円が株式会社ドウゾ様から当研究基金へ寄付された。 寄付総額:18,300円 ※9月末で終了	4-9月	全国各地	2人	60000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計) [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携] [糖尿病以外の団体との連携]	○毎月定額(1口2000円:2000円はひと月のインスリン注射費用の概ね半分の額)で当研究基金のサポートをいただくノーモア注射マンスリーサポーターから寄付を頂戴した。 サポーター数:21名で27口 寄付総額:314,000円	通年	全国各地	3人	患者及びその家族等 60000人	
	○(株)パリュブックス様と協働で家庭や職場に眠っている古本を提供いただく「～ノーモア注射～希望の本プロジェクト」により寄付を頂戴した。 冊数:9,286冊 寄付総額:168,039円	通年	全国各地	4人	60000人	
	○家庭や職場にある書き損じ・未使用のハガキを提供いただく「書き損じハガキプロジェクト」により寄付を頂戴した。 寄附金額:97,595円	通年	全国各地	4人	60000人	
	○ジャスト・ギビング・ジャパンのWEBサイトで当研究基金への寄付を呼びかける「“ノーモア注射2025”プロジェクト」により寄付を頂戴した。 チャレンジ数:5 寄付金額:155,000円	通年	南越前町 安城市 佐賀市 大津町	5人	60000人	
	○日本難病・疾病団体協議会(JPA)と連携し、難病患者及びユニセフ支援のための入れ歯リサイクル活動(不要になった入れ歯に含まれる貴金属を換金して寄付していただく仕組み)により寄付を頂戴した。 寄付者:くりはら歯科医院様(三原市) 寄付額:24,164円(当法人入金額)	通年	三原市 佐賀市	2人	60000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) [糖尿病に関する知識の普及啓発] [糖尿病に関する調査研究] [糖尿病に関する団体との連携] [糖尿病以外の団体との連携]	○印刷受注額の一部(3~5%)を当研究基金に寄付する「Print of Hope~希望の印刷プロジェクト」により株式会社エヌワイ企画様から寄付を頂戴した。 発注者:ソニアシステム株式会社様(鯖江市) カバヤ食品株式会社様(岡山市) 寄付総額:6,250円	7月~	鯖江市 岡山市 佐賀市	1人	患者及びその家族等 60000人	
	○認定NPO法人(寄付者に税制優遇措置有り)の基準(年間3000円以上の寄付者が100人以上)を満たすために「3000円募金」のお願いを主催イベントで実施した。 寄付者数:69人 寄付総額:396,000円	9-3月	全国各地	3人	60000人	
	○参加費のうち1人あたり500円を当研究基金に充てることを明示して全国各地でセミナーを開催した。 寄付金額:172,000円	9-2月	全国各地	4人	60000人	
	○全国各地で開催したセミナーで募金活動を行った。 募金総額:145,480円	9-3月	全国各地	6人	60000人	

(2) その他の事業 該当なし

平成24年度収支計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
(単位:円)

科 目	合計	一般会計	1型糖尿病研究 基金特別会計	備 考
I 収入の部				
1 会費収入	1,662,000	1,662,000	0	
・正会員会費収入	492,000	492,000	0	
・賛助会員会費収入	324,000	324,000	0	
・その他の会員会費収入	846,000	846,000	0	個人会員
2 寄付金収入	18,529,680	12,629,357	5,900,323	
・一般寄付金収入	12,629,357	12,629,357	0	
・1型糖尿病研究基金寄付金収入	5,900,323	0	5,900,323	岩田稔投手、イベント、マンスリーサポーター
3 助成金等収入	2,762,550	2,762,550	0	
・助成金収入	0	0	0	
・負担金収入	2,762,550	2,762,550	0	イベント参加費
4 繰入金収入	0	0	0	
・一般会計繰入金収入	0	0	0	
5 繰出金収入	0	0	0	
・東京事務所開設準備積立金取崩収入	0	0	0	
6 雑収入	163,738	163,181	557	
・受取利息	1,953	1,396	557	
・雑収入	161,785	161,785	0	
当期収入合計(A)	23,117,968	17,217,088	5,900,880	
前期繰越収支差額	8,144,781	4,184,462	3,960,319	
収入合計(B)	31,262,749	21,401,550	9,861,199	
II 支出の部				
1 事業費	17,083,887	13,797,130	3,286,757	
・ネットワークの拡大・支援	20,540	20,540	0	患者・家族会助成
・情報収集提供・政策提言	3,699,454	3,699,454	0	カーボカウントセミナー(6回)、IDDM白書
・調査研究	7,158,795	7,158,795	0	マニュアル本パート3増刷、同パート5発行、JDRF
・シンポジウム・患者家族交流会	1,281,776	1,281,776	0	大阪市で開催
・関係団体との連携	213,680	213,680	0	
・普及啓発	68,995	68,995	0	
・療育相談	9,385	9,385	0	
・会報発行	612,020	612,020	0	2回発行
・東日本大震災対策	732,485	732,485	0	パート3別冊「東日本大震災」作成準備
・1型糖尿病研究助成金	2,000,000	0	2,000,000	2件の研究費助成
・広報	1,286,757	0	1,286,757	研究基金パンフレットの増刷、DVD作成
2 管理運営費	4,517,680	4,451,228	66,452	
・人件費	0	0	0	
・管理費	4,517,680	4,451,228	66,452	業務委託、電話料、クレジットサービス使用料
3 繰入金支出	0	0	0	
・1型糖尿病研究基金特別会計繰入金支出	0	0	0	
・東京事務所開設準備積立金支出	0	0	0	
4 予備費	0	0	0	
・予備費	0	0	0	
当期支出合計(C)	21,601,567	18,248,358	3,353,209	
当期収支差額(A)-(C)	1,516,401	-1,031,270	2,547,671	
次期繰越収支差額(B)-(C)	9,661,182	3,153,192	6,507,990	・「絵本」及びパート3別冊「東日本大震災」の未完成

平成24年度 活動計算書
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

科目	金額 (単位: 円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	492,000		
賛助会員受取会費	324,000		
その他の会員受取会費	846,000	1,662,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金 (活動一般)	12,629,357		
受取寄附金 (1型糖尿病研究基金)	5,900,323	18,529,680	
3. 受取助成金等			
受取助成金	0		
受取負担金	2,762,550	2,762,550	
4. その他収益			
受取利息	1,953		
雑収益	161,785	163,738	
経常収益計			23,117,968
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
業務委託費	901,982		
諸謝金	562,000		
租税公課	51,392		
印刷製本費	6,183,363		
会議費	76,218		
旅費交通費	4,795,792		
通信運搬費	1,217,239		
消耗品費	36,586		
賃借料	502,345		
諸会費	321,000		
支払手数料	35,912		
支払助成金	2,020,000		
支払寄付金	40,000		
新聞・図書費	18,112		
雑費	321,946		
その他経費計	17,083,887		
事業費計		17,083,887	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
業務委託費	2,835,000		
諸謝金	0		
租税公課	0		
印刷製本費	49,790		
会議費	8,610		
旅費交通費	326,000		
通信運搬費	534,018		
消耗品費	162,404		
賃借料	540,649		
諸会費	0		
支払手数料	54,743		
支払助成金	0		
支払寄付金	0		
新聞・図書費	0		
雑費	6,466		
その他経費計	4,517,680		
管理費計		4,517,680	
経常費用計			21,601,567
当期経常増減額			1,516,401
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
2. 過年度損益修正益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 固定資産除・売却損		0	
2. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			1,516,401
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			1,516,401
前期繰越正味財産額			14,233,281
次期繰越正味財産額			15,749,682

※本年度は「その他の事業」は実施していません。

平成24年度貸借対照表総括表

平成25年3月31日現在
認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
(単位:円)

科 目	合計	一般会計	1型糖尿病研究 基金特別会計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	15,823,440	9,314,490	6,508,950
未収会費	0	0	0
未収入金	25,000	25,000	0
流動資産合計	15,848,440	9,339,490	6,508,950
2 固定資産			
固定資産合計	0	0	0
資 産 合 計	15,848,440	9,339,490	6,508,950
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	79,710	78,750	960
前 受 金	14,500	14,500	0
短期借入金	0	0	0
預 り 金	4,548	4,548	0
流動負債合計	98,758	97,798	960
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	98,758	97,798	960
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	14,233,281	10,272,962	3,960,319
当期正味財産増加額	1,516,401	-1,031,270	2,547,671
正味財産合計	15,749,682	9,241,692	6,507,990
負債及び正味財産合計	15,848,440	9,339,490	6,508,950

平成24年度財産目録

平成25年3月31日現在
認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高(一般会計)	270,539	
現金 現金手許有高(特別会計)	726,031	
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(一般会計)	2,132,274	
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(特別会計)	5,742,795	
普通預金 百五銀行員弁支店(一般会計)	0	
普通預金 三井住友銀行佐賀支店(一般会計)	0	
郵便貯金 福岡貯金事務センター(一般会計)	194,010	
郵便貯金 福岡貯金事務センター(特別会計)	40,124	
郵便貯金 郵便貯金総合通帳・ばるる(一般会計)	711,501	
定額貯金(3年) ゆうちょ銀行(一般会計)	1,000	
定期預金(1年) みずほ銀行佐賀支店(一般会計)	3,004,203	
定期貯金(1年) ゆうちょ銀行(一般会計)	3,000,963	
未収会費(一般会計)	0	
未収入金(一般会計)	25,000	
流動資産合計		15,848,440
2 固定資産		
固定資産合計		0
資 産 合 計		15,848,440
II 負債の部		
1 流動負債		
未 払 金(一般会計)	78,750	
未 払 金(特別会計)	960	
前 受 金(一般会計)	14,500	
預 り 金(一般会計)	4,548	
短期借入金(一般会計)	0	
流動負債合計		98,758
2 固定負債		
固定負債合計		0
負 債 合 計		98,758
正 味 財 産		15,749,682

注) 定額貯金、定期預金及び定期貯金の合計額6,006,166円が東京事務所開設準備積立金である。

前事業年度の年間役員名簿

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	井上 龍夫	愛知県安城市	24年4月1日 ～25年3月31日	該当なし
副理事長	岩永 幸三	佐賀県佐賀市	24年4月1日 ～25年3月31日	該当なし
専務理事	大村 詠一	熊本県菊池郡大津町	24年4月1日 ～25年3月31日	該当なし
理事	後藤 昌史	宮城県仙台市	24年4月1日 ～25年3月31日	該当なし
理事	山本 康史	三重県伊勢市	24年4月1日 ～25年3月31日	該当なし
監事	古賀 敏久	福岡県久留米市	24年4月1日 ～25年3月31日	該当なし
専務理事	中村 嘉克	佐賀県佐賀市	24年4月1日 ～24年5月31日	該当なし
理事	松本 慎一	兵庫県神戸市	24年6月1日 ～25年3月31日	該当なし

注) 大村詠一の専務理事としての就任期間は平成24年6月1日からです。
その前の平成24年4月1日から5月31日までは理事です。

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

平成25年3月31日現在

認定特定非営利活動法人日本IDDMMネットワーク

氏名	住所又は居所
けやきの会 代表者：塩沼正人	宮城県名取市
特定非営利活動法人秋田県1型糖尿病の会 代表者：村田雅彦	秋田県秋田市
特定非営利活動法人補食の会 代表者：西田均	富山県砺波市
大阪くるみの会 代表者：加藤茂康	大阪府高槻市
大阪杉の子会 代表者：園部政和	大阪府大阪市
岡山つぼみの会 代表者：鈴木正博	岡山県岡山市
広島もみじの会 代表者：尾崎友美	広島県広島市
特定非営利活動法人DMユース佐賀 代表者：坂本匡	佐賀県佐賀市
特定非営利活動法人ことのうみの会 代表者：平野俊男	長崎県長崎市
DM風の会 代表者：陶山えつ子	熊本県玉名郡和水町